学校番号	T3010

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	インテリア実習Ⅱ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

インテリア系列では、快適な生活を送るために必要な家具等の制作を通して、インテリアデザインや木工作品の制作、加工を学習します。この授業ではインテリアデザインや木工作品の制作、加工に関する基礎的・基本的な技術、安全に配慮した道具の使い方と目的とする形状に加工する技術を身に付けます。
刃物や木工機械を使用します。安全に配慮し、担当の先生の指示をよく聞いて作業を進めるようにしてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
・インテリア系列の科目と関連させ、自分がイメージした家具等を創造するための基礎的・基本的な知識や技術を身につけます。
　インテリアデザインに興味を持ち、木材の加工技術を積極的に学ぶ態度を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】
・制作する過程で、木材の加工やデザイン等の課題を発見し、課題を解決するため思考・判断を行う態度を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】
・木材やインテリアデザインに関心をもち、木材の加工を積極的に行う態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	インテリアデザインや木工等に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。 安全や環境に配慮し、計画的に木材の加工を行う技術を身につけている。	インテリアデザインや木材の加工等に関するアイデアや技法の課題解決をめざして考えを深め、基礎的・基本的な技術を基に判断し、表現しようとする態度を身に付けている。	インテリアデザインや木材の加工等、ものづくりに関心をもち、制作に向けて意欲的に取り組み、実際に活用しようとする態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	木材加工法と小物家具のデザイン	組接ぎ技法を使った蓋つき小箱の制作 道具や工作機械の使い方 材料の加工方法 スタディモデルの作成 安全教育	a：インテリアデザインや木材の加工等に関する基礎的・基本的な知識や技術を身に付けている。安全や環境に配慮し、計画的に技術を活用している。 b：インテリアデザインや木材の加工等に関するアイデアや技法の課題解決をめざして考えを深めている。 c： インテリアデザインや木工等、ものづくりに関心をもち、制作に向けて意欲的に取り組んでいる。	作品 授業態度 プリント	作品 授業態度 プリント	作品 授業態度 プリント
二学期	木材加工と材料理解	ほぞ組による家具の制作 木材の加工方法や工作機械等の使い方 安全教育	a：インテリアデザインや木材の加工等に関する基礎的・基本的な知識や技術を身に付けている。安全や環境に配慮し、計画的に技術を活用している。 b：インテリアデザインや木材の加工等に関するアイデアや技法の課題解決をめざして考えを深めている。 c： インテリアデザインや木工等、ものづくりに関心をもち、制作に向けて意欲的に取り組んでいる。	作品 授業態度 プリント	作品 授業態度 プリント	作品 授業態度 プリント
三学期	木材加工と仕上げ	ほぞ組による家具の制作 木材の加工方法や工作機械等の使い方 作品の仕上げ プレゼンテーション 安全教育	a：インテリアデザインや木材の加工等に関する基礎的・基本的な知識や技術を身に付けている。安全や環境に配慮し、計画的に技術を活用している。 b：インテリアデザインや木材の加工等に関するアイデアや技法の課題解決をめざして考えを深めている。 c： インテリアデザインや木工等、ものづくりに関心をもち、制作に向けて意欲的に取り組んでいる。	作品 授業態度 プリント	作品 授業態度 プリント プレゼンテーション	作品 授業態度 プリント プレゼンテーション

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度